

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	639(舒明11年)		・舒明天皇、伊予温湯宮に行幸	
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定 ・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	661(斉明7年)		・斉明天皇、熟田津の石湯行宮に入る	
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	724(神亀1年)		・流罪の国を制定、伊予国は中流国となる	
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
	794(延暦13年)	・平安京に遷都		
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
平安時代	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	939(天慶2年)		・伊予国、藤原純友の召喚を要請	
	940(天慶3年)		・藤原純友軍、讃岐国・伊予国を襲撃し、備前・備後の兵船を焼く	
	941(天慶4年)		・政府軍、博多津で純友軍を破る、橘遠保、純友を討つ	
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・伊予国:耕地13,501町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1063(康平6年)		・前九年の役の功により、源頼義を伊予守に任命	
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1088(寛治2年)			・銚田池(温泉郡)築造と伝う*5
1156(保元元年)	・保元の乱			
1159(平治元年)	・平治の乱			
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置	・源義経、伊予守に叙任	
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		・大井手水路を築造
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
1334(建武元年)	・建武の中興			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
室町時代	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・伊予国:耕地14,802町
	1506(永正3年)			・銚田池(温泉郡、灌漑面積10町)再建という*5
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
1558(永禄1年)			・梅本に大池築造(松山小野地区) ・永禄・元亀年間:市之井手(温泉郡)*5	
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる		・天正年間:宗意箱新田・宗意畑(伊予郡、25町)*5	
安土・桃山時代	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(~'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			
	1595(文禄4年)		・豊臣秀吉、伊予国で加藤嘉明を6万石、藤堂高虎を7万石、代官に任命	
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・徳川家康、藤堂高虎を伊予半国20万石に加増、加藤嘉明、10万石に加増	
	1601(慶長6年)			
	1602(慶長7年)			・正木城跡埋立開田(伊予郡、15町)*5
1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く			
1604(慶長9年)				
1605(慶長10年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)		・藤堂高虎、伊賀・伊勢22万石余に移封	・前浜開墾(新居郡、10町)*5
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			・田尾池築造(土居町)
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣	・伊達秀宗、板島(宇和島)10万石に就封	
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)			
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)			
	1623(元和9年)			
	1624(寛永元年)			・寛永年間: 忠兵衛作・十三石分開墾(越智郡)*5
	1625(寛永2年)			
	1626(寛永3年)			
	1627(寛永4年)			
	1628(寛永5年)			・嵐部開拓(北宇和郡、18町)*5
	1629(寛永6年)			
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			・中山池(北宇和郡、灌漑面積85町)*5
	1632(寛永9年)			・野々瀬開墾(越智郡)*5
	1633(寛永10年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1634(寛永11年)			
	1635(寛永12年)		・伊勢桑名城主松平(久松)定行が松山15万石に、伊勢長島城主松平定房を今治3万石に就封	・梶池(温泉郡)築造と伝う*5
	1636(寛永13年)			
	1637(寛永14年)			
	1638(寛永15年)			
	1639(寛永16年)	・鎖国令		
	1640(寛永17年)			
	1641(寛永18年)			
	1642(寛永19年)			
	1643(寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644(正保元年)			・向新町(宇和島市)*5 ・東多田村に閑地池を築造
	1645(正保2年)			
	1646(正保3年)			・車居池(北宇和郡)*5
	1647(正保4年)			・三秋村大池(伊予郡)、岡の奥池(北宇和郡)*5
	1648(慶安元年)			・宮の奥池(北宇和郡)*5 ・津梅坂池築造(山田村)
	1649(慶安2年)	・地方五役5人組制度		・畑の奥池(北宇和郡)*5
	1650(慶安3年)			
	江戸時代前期			・松山藩15万石、宇和島藩7万石、大洲藩5万石、西条藩3万石、今治藩3万石、吉田藩3万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654(承応3年)			・向の奥池(北宇和郡)*5
	1655(明暦元年)			・池田大池大改築(新居浜市船木村) ・明暦年間:松岡池(新居郡)*5
	1656(明暦2年)			・池田池(四国三郎)(新居郡)*5
	1657(明暦3年)			・汐新田(宇和島市)、黒法師池(北宇和郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1658(万治元年)			
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			・加茂川釜の口井堰の改修工事
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			・宇摩郡半田村飼谷に用水池できる
	1664(寛文4年)			
	1665(寛文5年)		・この年、小松領江口新田が干拓される	
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		・早稲田池(東宇和郡)*5
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			
	1673(延宝元年)		・宇和島・松山両領内に暴風雨おこり、石手川が氾濫	
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			・内海魚神山新浦、須賀川新田築造
	1676(延宝4年)			
	1677(延宝5年)			・枝朶の下池築造(松山市北梅本)
	1678(延宝6年)			
	1679(延宝7年)			・樺崎汐新田(宇和島市)*5
	1680(延宝8年)			
	1681(天和元年)			・大浦汐新田(宇和島市)*5
	1682(天和2年)			
	1683(天和3年)			
	1684(貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		・貞享・元禄年間:黒穂池(温泉郡)*5
	1685(貞享2年)			
	1686(貞享3年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1687(貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		
	1688(元禄元年)			・元禄年間:浮貞新開(越智郡)、仰西渠(上浮穴郡、灌漑面積25町)、柳沢村開墾(喜多郡、24町)*5
	1689(元禄2年)			
	1690(元禄3年)			
	1691(元禄4年)	・この年、波止浜赤崎堀に塩田6浜を増築		・富田池(西宇和郡)*5
	1692(元禄5年)			
	1693(元禄6年)			
	1694(元禄7年)			
	1695(元禄8年)			
	1696(元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		・磯、芋地谷、ひらのえ新田
	1697(元禄10年)			
	1698(元禄11元年)			
	1699(元禄12年)			・樺崎新田(宇和島市)*5
	1700(元禄13年)			
	1701(元禄14年)			・松崎汐新田(宇和島市)*5
	1702(元禄15年)			
	1703(元禄16年)			
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			
	1713(正徳3年)			
	1714(正徳4年)			・中島新田(北宇和郡)*5
	1715(正徳5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
江戸時代	1716 (享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		・享保年間:北條池(温泉郡)*5
	1717 (享保2年)			
	1718 (享保3年)			
	1719 (享保4年)			
	1720 (享保5年)			・馬渡り池(東宇和郡)*5 ・駄馬開田(野村町)
	1721 (享保6年)	・目安箱の設置	・大洲城下で大洪水発生 ・松山城下で大洪水発生	・通谷池(砥部町)
	1722 (享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723 (享保8年)			
	1724 (享保9年)			
	1725 (享保10年)			
	1726 (享保11年)	・新田検地条目の制定		・長沢池(北宇和郡)*5
	1727 (享保12年)			
	1728 (享保13年)			
	1729 (享保14年)			
	1730 (享保15年)			
	1731 (享保16年)			
	1732 (享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733 (享保18年)			
	1734 (享保19年)			・東多喜浜干拓工事
	1735 (享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		・北条池(温泉郡)*2 ・小越新川(北宇和郡)*5
1736 (元文元年)				
1737 (元文2年)				
1738 (元文3年)				
1739 (元文4年)				
1740 (元文5年)			・久主地区開田	
1741 (寛保元年)				
1742 (寛保2年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1743(寛保3年)			
	1744(延享元年)			
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
	1748(寛延元年)			
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・伊予国:田29,144町、畑22,117町、計51,261町
	1751(宝暦元年)			・宝暦年間:御救新田(周桑郡、60余町)*5
	1752(宝暦2年)			
	1753(宝暦3年)			
	1754(宝暦4年)			
	1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成		
	1756(宝暦6年)			
	1757(宝暦7年)			
	1758(宝暦8年)			
	1759(宝暦9年)			・久貢新田(新居郡)
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)		・今治藩、総社川筋付替の工事完成	
	1764(明和元年)			
	1765(明和2年)			
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			
	1768(明和5年)			・花ノ郷氷見多兵衛新田、恵美郷大黒新田(新居郡)
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1771 (明和8年)			
	1772 (安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773 (安永2年)			
	1774 (安永3年)			
	1775 (安永4年)			
	1776 (安永5年)			
	1777 (安永6年)			
	1778 (安永7年)			
	1779 (安永8年)			
	1780 (安永9年)			
	1781 (天明元年)			・赤坂泉開削 ・天明年間: 平山池(温泉郡)*5
	1782 (天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		・禎瑞村・橘村(新居郡、250町)*5
	1783 (天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉		
	1784 (天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785 (天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786 (天明6年)	・下総手賀沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787 (天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788 (天明8年)			
	1789 (寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790 (寛政2年)			・三ヶ村泉及び三ヶ村井堰
	1791 (寛政3年)			・池の内池(丹原町)
	1792 (寛政4年)			
	1793 (寛政5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			・犬塚池*2
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			・享和年間:起返埋立(宇摩郡)*5
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			・赤坂泉開削(伊予郡、灌漑面積110町)*5
	1804(文化元年)			・文化年間:新地(温泉郡)、東峰池(伊予郡)、近家新田(北宇和郡、15町)*5
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			・古江(越智郡、10町)*5
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			・大池(伊予市三秋)
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			・北吉田浜手新田(温泉郡)
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			・文政年間:新畑(越智郡、10町)*5
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			・振替池(越智郡、13町)、川尻干拓(越智郡)*5
	1826(文政9年)			
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			・高中開発(喜多郡)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			・粟井埋立(宇摩郡、12町)*5
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)			
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			・馬頭池(上浮穴郡)*5
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		・柳源泉、同堀貫水門並びに三ヶ村掘貫水門を開設
	1840(天保11年)			・日狐新田(宇和島市)*5 ・森の木泉、森の木暗渠開設
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・弘化年間:小笠原新田(宇和島市、11町)、岡村新田(宇和島市)*5
	1845(弘化2年)		・今治藩、伯方島木浦の塩田開発に着手	・佐古池(重信町)
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		・新池(越智郡、15町)*5
	1848(嘉永元年)			
	1849(嘉永2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			・大可賀新田(温泉郡、67町)、旭新田(温泉郡、24町)*5
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		・安政年間:入野溜池(宇摩郡)*5 ・安政・万延年間:千丈村開田(西宇和郡)*5
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		・祝井水路(北宇和郡、10町)*5 ・黒穂池増築(温泉郡、灌漑面積18町)*5
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		・吹上池増築(川内町)
	1861(文久元年)			・田手原池(新居郡)*5
	1862(文久2年)			・古谷池(越智郡)*5
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新		・前嶽溝(東宇和郡)*5
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可	・伊予8県を松山県と宇和島県に編成	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
明治時代	1872 (明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873 (明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置	・2県を愛媛県として統合	
	1874 (明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875 (明治8年)			
	1876 (明治9年)		・香川県を廃し愛媛県に合併	
	1877 (明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		・松陰池
	1878 (明治11年)			
	1879 (明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(～'82)	・県下にコレラ蔓延、死者9000人以上	
	1880 (明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881 (明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882 (明治15年)	・日本銀行開業		
	1883 (明治16年)			
	1884 (明治17年)			
	1885 (明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886 (明治19年)			
	1887 (明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888 (明治21年)	・市制及び町村制を公布	・香川県を愛媛県から分離設置	
	1889 (明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890 (明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891 (明治24年)	・濃尾大地震		
	1892 (明治25年)			
			・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha	・田46,708ha、畑66,189ha、計112,897ha
	1893 (明治26年)			
	1894 (明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895 (明治28年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
明治時代	1896 (明治29年)	・河川法制定		
	1897 (明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898 (明治31年)			
	1899 (明治32年)	・耕地整理法公布	・洪水のため鴨川氾濫、水死者51人。別子山村見花谷山大崩落、死者1000人余	
	1900 (明治33年)			
	1901 (明治34年)			
	1902 (明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		・奥内の薬師頭首工を空石積に改修、新井手開削(双海町)
	1903 (明治36年)			
	1904 (明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905 (明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)	・県下で風水害、新居・宇摩・越智3郡で被害甚大	
	1906 (明治39年)			
	1907 (明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		
	1908 (明治41年)			
	1909 (明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		
1910 (明治43年)	・韓国併合			
1911 (明治44年)				
大正時代	1912 (大正元年)			
	1913 (大正2年)	・北海道大冷害		
	1914 (大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		・小松池*2
	1915 (大正4年)			
	1916 (大正5年)			
	1917 (大正6年)	・米価高騰		
	1918 (大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		
	1919 (大正8年)	・都市計画法公布		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921(大正10年)	・米穀法公布		・大谷池築造(小松町)
	1922(大正11年)			
	1923(大正12年)	・関東大震災		
	1924(大正13年)			・逆谷池(温泉郡)*2
	1925(大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		・室川・渦井川沿岸排水改良事業着工(～'30)
	1926(大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		・新谷大洲第1期排水改良事業着工(～'38)
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		
	1930(昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する		
	1931(昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作		・伊予郡南伊予村外3力村第1期用水改良事業着工(～'34)
	1932(昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		・伊予郡南伊予村外3力村第2期用水改良事業着工
	1933(昭和8年)	・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波		
	1934(昭和9年)	・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風		
	1935(昭和10年)			・温泉郡北条市外2力村用水改良事業着工 ・新谷大洲第3期排水改良事業着工(～'39)
	1936(昭和11年)	・2.26事件	・銅山川分水問題、徳島・愛媛両県知事調印	
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)	・銅山川分水改良工事起工	・城之谷用水改良事業着工(～'54)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
				<ul style="list-style-type: none"> ・銅山川疏水用水改良事業着工(～'54) ・新居郡氷見町外1カ村用水改良事業着工
	1938(昭和13年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家総動員法公布 ・農地調整法公布 		
	1939(昭和14年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦はじまる 		
	1940(昭和15年)	<ul style="list-style-type: none"> ・米穀管理規則により統制 		<ul style="list-style-type: none"> ・銅山川疏水第2期用水改良事業着工
	1941(昭和16年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始 		
	1942(昭和17年)	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧管理法公布(供出配給強化) 		<ul style="list-style-type: none"> ・岩松代行干拓事業着工(～'61)
	1943(昭和18年)			
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	<ul style="list-style-type: none"> ・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・松山空襲 ・南予地方暴風雨の被害甚大 	
	1946(昭和21年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・12.21 南海大地震 	<ul style="list-style-type: none"> ・国営旧西条干拓事業着工(～'67) ・一本松開墾建設事業着工(～'56)
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・興居島開墾建設事業着工(～'49)
	1948(昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設省設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営燧灘干拓事業着工(～'67)※ ・国領川沿岸用水改良事業着工(～'49) ・飯岡用水改良事業着工(～'51) ・禎端排水改良事業着工(～'49)
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施 		
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・蒼社川用水改良事業着工(～'51) ・菊間用水改良事業着工(～'52) ・崩口川排水改良事業着工(～'53)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
昭和時代				<ul style="list-style-type: none"> ・彰平開墾建設事業着工(～'51) ・御開山開墾建設事業着工(～'53) ・別子山開墾建設事業着工(～'57) ・大野ヶ原開墾建設事業着工(～'58)
	1951(昭和26年)	・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・多田用水改良事業着工(～'61) ・吉井排水改良事業着工(～'59) ・大久保山開墾建設事業着工(～'56) ・保井野開墾建設事業着工(～'60)
	1952(昭和27年)	・農地法公布		<ul style="list-style-type: none"> ・中山川沿岸用水改良事業着工(～'56) ・松山北部用水改良事業着工(～'56) ・石根第2開墾建設事業着工(～'55) ・四ツ浜開墾建設事業着工(～'55) ・川の子開墾建設事業着工(～'56) ・周布開墾建設事業着工(～'57) ・長津代行干拓事業着工(～'64) ・福田干拓事業着工
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		<ul style="list-style-type: none"> ・大明神川左岸用水改良事業着工(～'62)
	1954(昭和29年)			<ul style="list-style-type: none"> ・木落開墾建設事業着工(～'55) ・御五神島開墾建設事業着工(～'56)
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		
	1956(昭和31年)			
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		<ul style="list-style-type: none"> ・国営道前道後農業水利事業着工(～'67)※ ・船木用水改良事業着工(～'67) ・五城開墾建設事業着工
	1958(昭和33年)			<ul style="list-style-type: none"> ・小松開墾建設事業着工(～'62) ・近家干拓事業着工(～'64)
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		<ul style="list-style-type: none"> ・菖蒲堤用水改良事業着工(～'63)
	1960(昭和35年)	・所得倍増計画		<ul style="list-style-type: none"> ・土淵田排水改良事業着工(～'67)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
		・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え		・大洲用排水改良事業着工(～'67)
	1961(昭和36年)	・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62)		
		・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha		・田44,800ha、畑42,800ha、計87,600ha
	1962(昭和37年)			
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設	・面河ダムの貯水式	・道前平野用水改良事業着工(～'69)
	1964(昭和39年)	・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布		・道後平野用水改良事業着工(～'69) ・砥部農地開発事業着工(～'66)
	1965(昭和40年)		・面河ダムの完成	
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		・上浦農地開発事業着工(～'58)
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布	・9.- 県干害総合対策本部、28日現在の干害被害額202億6700万円と発表	・菊間用水改良事業着工(～'73) ・夫婦山農地開発事業着工(～'71) ・横谷調整池※ ・通谷調整池※ ・面河ダム完成※
	1968(昭和43年)			
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設		・八幡浜南部農地開発事業着工(～'78)
	1970(昭和45年)		・台風10号、県下の被害209億円	・川の江用水改良事業着工(～81) ・砥部用水改良事業着工 ・石手川北部用水改良事業着工 ・大久保山用水改良事業着工(～'82) ・富士見農地開発事業着工(～'76)
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		・国営四国カルスト草地開発事業着工(～'80)※ ・頓田川沿岸用水改良事業着工(～'80) ・岩松用水改良事業着工

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
				・北条畑地帯総合土地改良事業着工
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設		・蒼社川沿岸用水改良事業着工(～'80)
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次)		
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足	・愛媛・高知県の渡川分水交渉決裂	・国営南予農業水利事業着工(～'96)※ ・三間地区県営ほ場整備事業着工*4
	1975(昭和50年)			・国営大洲喜多農地開発事業着工(～'88)※ ・川上用水改良事業着工(～'82) ・松野農地開発事業着工(～'83)
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		
	1977(昭和52年)		・伊方原発1号機営業運転開始	
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		・銅山川第2用水改良事業着工
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設	・本四架橋工事、大三島橋開通	
	1980(昭和55年)			
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		
	1982(昭和57年)			・南予第1用水改良事業着工 ・南予第2用水改良事業着工
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		・八幡浜北用水改良事業着工 ・三瓶用水改良事業着工 ・吉田南部用水改良事業着工 ・三崎南畑地帯総合土地改良事業着工
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定		・保内用水改良事業着工 ・川水田用水改良事業着工 ・吉田東部用水改良事業着工
	1985(昭和60年)			・布喜川調整池完成※
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史	
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通			
平成時代	1989(平成元年)			・国道前道後平野農業水利事業着工(～'07)※ ・伊方調整池完成※	
	1990(平成2年)				
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる			
	1992(平成4年)				
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入			
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定			
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災			
	1996(平成8年)			・東蓮寺池完成※	
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布			
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立			
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立	・本四架橋今治・尾道ルート(しまなみ海道)開通		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定			
	2001(平成13年)			・佐古ダム完成※	
	2002(平成14年)				
	2003(平成15年)				
	2004(平成16年)	・中越地震			
	2005(平成17年)				
			・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田25,100ha、畑31,800ha、計56,900ha
	2006(平成18年)				
	2007(平成19年)	・中越沖地震			
2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震				
2009(平成21年)					
2010(平成22年)					

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛媛県の歴史	愛媛県の水土整備の歴史
	2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		
	2012(平成24年)			
	2013(平成25年)			

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
 - *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
 - *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
 - *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
 - *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)
- ※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋
- なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「愛媛の土地改良史」(1986年)より抜粋
また、愛媛県の歴史は「愛媛県の歴史」(2003年)(山川出版社)より抜粋